シスター・モヒニ 2018 年 10 月 13 日

# 心を通して力を与える (2018-10-12 2006-10-31 アビヤクトのリビジョン)

オム シャンティ。オム シャンティ。オム シャンティ。 昨日のバップダダの会合から、みなさんは体験に浸っていることでしょう。そして、いつも愛に満ちているかをチェックしていることでしょう。ババは私たちに愛があり、私たちもここに来ることで、ババに愛があることを示しています。私たちが努力したり、奉仕したりできるのも、ババへの愛があるからだと思います。愛の飛行機に乗って、私たちはここに辿り着きました。けれども、ババが望んでいるのは、そして私たち自身も望んでいるのは、その愛がずっとあることです。変わらずにあることです。愛に浸っていることです。そして、愛に満ちていることです。けれども、私たちが自分の知力を使って何かを行う時、愛や近さの率が減ってしまうことがあります。私たちは時々ではなく、いつも愛に浸っているべきです。ババはその時、どんなユクティ、どんな方法を与えてくれますか？ ババが私たちにして欲しいと思うことは何ですか？ 時々、面白いことに、私たちは、ババが言うことを話したり、実験したりするのに、時間が掛かる場合があります。そして、その後でそれを信じるようになり、もっと使うようになります。ババは、偉大な授与者(マハダニ)になりなさい、と言っています。

授与者(ダニ)、偉大な授与者(マハダニ)、祝福の授与者(ヴァルダニ)があります。私はいつも、その3つを覚えています。私たちはみんな、与える者(ダニ)で、また、マハダニでもあり、ヴァルダニでもあります。そのことについて、お互いにシェアをする必要があります。ババは奉仕に新しさをもたらすように言っていました。努力においても一つの新しさは、どのように私たちが考え、言葉、行動を通して、奉仕に新しさをもたらすか、です。「考えを通して力を与える」という表現は、とてもシンプルですが、それはどういうことですか？ どのように、私たちは考えを通して力を与えられるのでしょうか？ そのようなワークショップをしたり、そのようなことを話し合ったりすることが、とても大切だと思います。考えを通して、私はどうやって力を与えますか？ 私たちは理解するために少し時間を掛けて、その後でやってみようと思います。さあ、どうやって考えを通して力を与えるか、考えてみましたか？ どなたか、何か答えがありますか？ 「私はこのような考えを創り出し、誰かがそれから力を受ける」どなたか、そのようなことについて良く考えましたか？ 昨日のムーリーについて本当によく考えた人、手を挙げてください。殆どの人が手を挙げています。私はここに座っていました。アビヤクト・バップダダがテレビに映っていました。その時、みんなが集中して聞いていましたが、その時からずっと私は考え続けていました。「どうやって私は誰かに考えを通して力を与えられるだろうか？」と。誰かが落胆していたり、何かの状況を通過していたりする時、私の考えがどのようにその魂に力を与えるでしょうか？

(二人が手を挙げています。マイクを持って行ってください)「考えの実験をして、体験したら、その追体験をします」(他に誰かいますか？)「自分が完全に軽く、遠くの地から来たもののように感じると、ババとの繋がりが楽になります。そして考えをあるべき波動に持って行きます。考えはとても遠くに素早く届きます」―勿論、方法は、魂の意識になり、ババと繋がることですが、尚、私が考えているのは、相手の魂がどうやって力を得るか、です。人が平和や愛の波動を送っている時、それは分ります。けれども、問題は、どうやって、魂が力を得るか、です。平和や愛の波動を送れば、魂がそれに応えているのが分ります。けれども、考えが相手の魂にとって、どう、力になるのでしょうか？ それについて、もっと考えて見てください。「私は相手の魂を現わします。ババも現します。そして、その魂をババに繋げます。その魂に、もし勇気がなければ、最初の永遠なるサンスカーを現わし『あなたはそれでした、これではありません』と言います。私はその魂をババに繋げます」―その方法はよく分ります。それは良くある方法ですが、けれども、問題はそれが相手の魂にとって、どう

力になるのか、ということです。方法ではなく、何か例を挙げてください。例えば、誰かに寛容力や直面力が欠けているとしましょう。さあ、私の考えがどのように、その魂にその力を与えますか？ もう少し、そのことを良く考えて見てください。ここにいるシニヤシスターの方々、何か考えがありますか？ ババは、「考えを通して力を」与えるように言います。言葉を通しては知識を、そして行動を通しては美徳を与えるように言います。それは良く理解できます。誰かがとても忍耐がない時、あなたが忍耐していれば、それは美徳を与えていることになります。誰かが幸せでない時、あなたが幸せでいると、幸せを与えています。欠けている資質が何であっても、周囲にいる魂たちだけでなく、雰囲気全体に、波動を通して、あるいは、模範になって示すことができます。「あなたには忍耐がありません」、「あなたには何々がありません」と言う代わりに、模範になれば、相手は気づきます。

私はダディ・プラカッシュマニが多くの模範を示すのを見て来ました。彼女はあまり話しませんが、行動の中に美徳があります。それは一種の寄付です。私たちにとって、それはとてもインスピレーションになります。ある時、彼女は座っていて、ある人が「これはこうであるべきです。これはこうすべきです。あなたはこのように行動すべきです」などと延々と話していました。私たちはその人がもう話すのを止めるべきだと思いました。けれども、ダディは何も気にした様子はなく、話を聞いていました。後で、ダディに尋ねました。「あなたは、気になりませんでしたか？」と。すると、ダディは答えました。「私は自分のパワーを試していたのです。私の忍耐のパワー、寛容のパワーは、ちゃんと機能しているだろうか、と」。ですから、彼女は行動の中に美徳を使うことを表しているように思えました。ブラーマ・ババに関しても多くの同じような場面を見ました。

私たちが練習するべき基本的なことの一つは、平和でいることと、非暴力でいることです。どんな状況に対応する場合にも、コミュニケーションを取りながら、完全に非暴力でいたかどうかを私たちは見る必要があります。私がニューヨークに行った当初、様々な場面に遭遇しました。センターにおかしな振る舞いをする人が来たりすると、生徒たちは、警察を呼ぼうか、と言いましたが、私は「何故、警察を呼びますか？ 不必要に私たちの住所を知らせる必要はありません」と言いました。まず、私たちが平和を創り出しているかどうかを、見て見ましょう。平和を創立するためには、平和でいること、平和に交流することが必要です。時間の寄付についても考えるべきです。私たちの時間はどちらにしても、すべて奉仕に使われますが、最近、気が付くのは、多くのババの子どもたちがスマホやコンピューターに多くの時間を使っていることです。勿論、私たちは、それらを使って仕事をする必要もありますが、道具となっている魂たちが殆どの場合、コンピューターに忙しくしています。誰かが話し掛けようとすると、「私が忙しくしているのが、分らないのですか？」といった風です。

私は言いました。「生徒たちは状況に直面します。あなたのところに来る必要がありますよ。あなたは彼らをガイドし、様々な状況を解決すべく、援助する必要がありますよ」と。すると、「それは私の担当ではありません」などと言います。では、あなたの担当は何ですか？「仕事を成し遂げることです。仕事をすること、それだけです」。それでは、人についてはどうなのですか？ あなたが対応しなければ、その人は、他のどこかへ行ってしまいますよ。ババが「時間の寄付」という時、それは、すべてを行いながら、何もないがしろにせずに、尚、ババの子どもたちに十分な時間を掛ける必要がある、ということだと感じます。ある人々はいつもないがしろにされている、無視されている、と感じています。他のすべての事柄は、結局は、人々のためであるにもかかわらず、そちらの方が優先されて、人々がないがしろにされています。ですから、私たちは時間の寄付とは何なのかについても、考える必要があります。

ババは言っていました。「知力を通して時間の宝を寄付し、人との関係や繋がりを通して幸せの宝を寄付する必要があります」と。絶えることなく愛に満ちていたいなら、偉大な授与者でいなくてはいけません。偉大な授与者でいると、とても大きなものを達成できます。それは何でしょうか？　障害のない状態です。偉大な授与者でいて初めて、障害の破壊者になることができるのです。すべての障害はまず、考えから創り出されます。もし、知力のヨガを繋げることや、心を律することや、集中することなどで訪れる微妙な障害を乗り越えられるなら、多くを達成できます。例えば、イライラする時、それは完全な集中がない、ということです。ですから、もし私のステージが障害から自由なら、どこで道具になっていたとしても大丈夫です。外的な障害は常にありますが、石が飛んで来たとしても、あなたに当たりません。あなたの家に当たるか、住んでいる町に当たります。ですから、大丈夫です。先週、フロリダ州に大きな嵐が来ました。屋根が吹き飛んだり、様々なものが吹き飛んだりしましたが、あなたは大丈夫です。障害はいつも内側にあるのです。ですから、私は周囲の人たちが何か不快なことを話したら、いつも「そのように考えることさえしないでください」と言っています。そのような考えが来る限り、外側の影響から安全でいないからです。あなたのエネルギーが、どんなレベルでも、低くなることを許さないでください。さもないと、外的な勢力に圧倒され、外的なことがいつも障害になります。

私たちの周囲で、どんなことが起きていても、私たちは内側を見てみる必要があります。「私は起きていることの一部になっていないだろうか？」と自分に尋ねてください。ババの家でも、ヤギヤでも、何かが正しくない、と考えたり、否定的に考えたり、疑惑を持ったりしないことです。というのは、そのように考えると、それが現実になってしまうからです。誰かが言いました。「センターにいると難しいです。家にいたいです」と。私は微笑んで言いました。「どうか、そんなことは言わないでください。人の所為だと思うかもしれませんが、あなたの考えが巡っているのです」ですから、私たちはとても、とても用心していなければなりません。愛があれば、想いは簡単で自然なはずです。そして、エネルギーのレベルをとても軽くしておくことができます。とても美しく、活動的で平和でいられます。外側の状況は決してなくなりません。一度、ダディ・ゴザールは言いました。最後の瞬間まで、状況は訪れます。それはあなたにとってのテストです。昨日ババも言いました。単に合格するだけでなく、あらゆる状況で合格するように、と。今、完璧になろうとしている時です。ババのようになろうとしている時です。そのような時、ステージが動揺したり、微妙な疑惑が起こったりしたら、それが障害になってしまいます。ですから、障害から自由なステージでいるためには、偉大な授与者として忙しく活発にしていることです。絶えず愛に満ちていて、絶えず偉大な授与者でいたら、障害から自由になります。

私たちは内側に多くの宝を持っています。けれども、みんなから受け取るべき一つのものは、祝福です。良い願いは、みんながあなたに与えることができますが、祝福というものは、心から来るものです。知力から来るのではありません。知識があるから祝福を与える、というのではありません。例えば、大きな荷物が届いて、それを家の中に入れたい時、ある人は忙しいので手伝えないと言いますが、別の誰かは喜んでお手伝いしましょう、と言って手伝ってくれます。すると、心からの祝福が来ます。その時に、援助が必要だからです。ババは言いました。ブラーミンの魂には協力をし、他の皆には寄付をしなさい、と。私たちはお互いに寄付はしませんが、確かに協力をします。誰でもリーダーであり得ます。どんな仕事が行われていても、あなたができるやり方で情熱を込めて、誠心誠意、仕事が成し遂げられるように協力することができます。ブラーミンの家族の協力は何かとても大切なものです。このことに、たくさんの注意を払う必要があります。障害に捕われる代わりに、偉大な授与者になることです。どんな魂に対しても全く不快な気持ちがないようにする必要があります。そして、みんなから祝福を受け取り続けます。それだけでなく、祝福を与え続けます。どのようにみんなに祝福を与えますか？　例えば、多くの体を使った奉仕をしている人たちがいます。彼らはその奉仕を

し続けるために、祝福を必要としています。ですから、私はみんなが奉仕をしているのを見て、彼らがそれを行い続けられるように祝福を与え続けます。誰にでも、どんなことにでも、私は祝福を与えることができます。

どのように祝福の授与者になれるのか、私は考えていました。誰かが私のところに来たら、これは正しい、とか、これは間違っている、とか、自分の知力を使いません。一体、そのように判断している私は誰ですか？遊離して、ババのことを考え、ババからどんな答えが来るか、見て見ます。というのは、ある魂が誰かを責めたり、文句を言っていたりしている時、そのような話を聞いてしまうことも、何らかのカルマの勘定を作ってしまうからです。では、どうやって遊離しますか？ とても美しい方法があります。聞きながら、ババをそこに連れて来るのです。聞きながら、ババをそこに連れてくると90％は成し遂げられます。人が何か言った途端、もう成し遂げられています。人は「あなたの祝福です」と言いますが、そうではありません。私はあなたの話を聞きながら、ババの存在をそこに創り出します。ですから、あなたはババに話しているのです。そして、ババが私を通して応えています。以前はトランスメッセンジャーを呼んで、ババの意見を訊いたものです。ババの存在を創り出すと、ババが話を聞いて、ババが援助できる方法で、あなたに指示を出してくれます。誰かに指示を出すことも多くの責任を負います。実際、人の人生の責任を取ることはできません。どんなカルマなどがあるか、分らないからです。ですから、ババの存在を創り出すことです。みんながあなたのところに来るでしょう。彼らは何も求めているわけではなく、ただあなたの祝福を欲しているのです。みなさんは、大きな奉仕やプログラムなどは行えないかもしれませんが、誰もが少なくとも、考えを通しての奉仕はできます。そして、他の人たちに祝福を与えることができます。

誰もが、今、自分にどんな新しいことができるだろう、と考えていると思います。ババは、あなたのステージが苦労のないものであるべきだ、と言いました。そして、彼は一つの言葉を言い続けました。それは「ラージィユクト」です。ラージィとは秘密、大切な意義という意味の言葉です。一つひとつの知識のポイントの意味は何なのか？ 例えば、このドラマで役を演じています。それはカルマに基づいています。ババが監督です。そこに秘密があります。何かが起きていたとしても、あなたは静かにしています。というのは、ドラマの場面の中に入り込みたいとは思わないからです。ラージィユクトなので、ヨギユクトでいられます。すべてのことにコメントする必要はありません。人について、物事について、コメントし続けている人がたくさんいますが、それは、認識がないからです。ラージィユクト、そしてヨギユクトという言葉はとても美しいです。

かつてデリーで、思いもしないような状況が起きたことがあります。その時、私たちはブラーマ・ババの所に行きました。ババは座っていました。恰も王子が地球の上に座っているかのようでした。彼は深い沈黙の中にいました。一度、ババのところに行くと、彼は深い沈黙の中にいました。そして、二度目に行った時も深い沈黙にいました。三度目も、深い沈黙でした。そこに答えがありました。実際、私たちは多くのことをしなければなりませんでしたが、ババの沈黙によって力を得ただけでなく、ガイダンスも受けました。沈黙の中で彼は物事を解決する援助をしました。沈黙の中で、やって来た大きな障害が取り除かれたのです。ババが、愛に溶け込むように言う時、実際、それは沈黙の力です。私たちはこの沈黙の力をもっともっと使っていく必要があります。お互いに座って物事について話せば、そこに解決があるかもしれませんが、完全に溶けてはなくならないでしょう。ババは言っています。「もし、沈黙の中で愛に溶け込むなら、問題はなくなり、解決の化身になる」と。沈黙の力、純粋性の力があると、そこにいるみんなが雰囲気の中で力を受け取り、チャージされ、誰もムダなことを考えません。完全な沈黙の雰囲気があると、何故こんなことが起こったのか、などという考えは出てきません。ババはいつも、ヤギヤには障害が来る、と言っています。

ブラーマ・ババにもダディ・プラカッシュマニにも、様々な状況が現れましたが、沈黙の力で解決がもたらされました。すべてのセンターが時々、半日、完全な沈黙でいてタパシヤのエネルギーを作り出すべきです。奉仕に関しても、体験を与えるような奉仕をすることです。体験したことは決して忘れません。知識は忘れるかもしれませんが、体験は忘れません。そしてまた、物語を忘れることもありません。献身の道ではたくさんの物語を聞いてきましたが、私たちにはヤギヤの物語があります。ダディ・ジャンキはたくさんのシェアをしてくれます。シニヤからたくさんを学びます。ババの愛を体験することです。ババの愛から、スイートさ、寛大さ、たくさんのものがやって来ます。愛は、チャーニングするようなものではありません。体験することです。まず、感じることです。それは知的な作業ではありません。

＊＊＊ オム シャンティ ＊＊＊